

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：YMCA山手台保育園アルク	種別：認可保育所	
代表者氏名：添谷 憲一	定員（利用人数）： 48名（利用人数：59名）	
所在地：〒245-0004 横浜市泉区領家2-11-1		
TEL：045-813-1022	ホームページ： https://hoiku.yokohamaymca.org/yamatedai/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：平成16年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：公益財団法人 横浜YMCA		
職員数	常勤職員：10名 非常勤職員：16名	
専門職員	（専門職の名称） 名 保育補助：4名	
	施設長：1名 栄養士：2名	
	主任：1名 調理員：2名	
	保育士：16名 事務：1名	
施設・設備の概要	（居室数） （設備等）	
	保育室：3室 園庭：有	
	トイレ：3ヶ所	
	調理室：1ヶ所 事務室：1ヶ所	

③理念・基本方針

【保育理念】

「イエス・キリストの愛と奉仕の精神に基づき、一人ひとりのいのちが輝く平和な社会の実現を目指します。」

【基本方針】

乳幼児期は、人間形成の根っこが育つ大切な時期です。神様、そして保護者や保育者から「あなたが大事」という温かくて豊かな栄養が含まれた思いを受けながら、様々な人間関係の中で、育てられ、育ちます。子どもたちは、存在を認められ、思いを受け止めてくれる人に支えられて、自分の力で根っこを伸ばしていきます。「おもしろそう」「やってみよう」「こうしたらどうなる」などと、子ども一人ひとりが生活や遊びのなかで、興味や意欲を示し、その思いを受け止め、支えてくれる大人が傍らにすることが大切なのです。YMCAでは、見たり、聞いたり、触ったり、匂いをかいだり、味わったりと、子どもたちの五感を用いて、心とからだを動かすことを大切にしながら、仲間とともに育ちあい、太くて長い根っこが伸びていくことを願います。

【保育目標】

「Spirit/Mind/Bodyがバランスよく成長する子ども」

Spirit（精神・こころ）「信じることのできる子ども」

- ・自分自身が周囲から愛され信頼されていると感じ、基本的信頼感が十分に育つ
- ・小さな達成感を積み重ね、自分に自信を持つ
- ・一人ひとりが今という時を喜びをもって生きる

Mind (知性・ちえ) 「考えることのできる子ども」

- ・「これはなんだろう?なぜだろう?」という好奇心を持ち、探究していく
- ・「考える楽しさ」をもとに、創意工夫する「考える力」を身につける
- ・他者とともに生きる知恵を育む

Body (身体・からだ) 「すこやかな子ども」

- ・乳幼児期に「快・不快」の感覚を身につけ、健康な生活習慣を身につける
- ・「栄養(食事)」「休養(睡眠)」「運動と生活リズム」のバランスを良く取り、健康な身体をつくる
- ・基本的な生活の技術を身につける

④施設・事業所の特徴的な取組

・YMCA山手台保育園アルクは平成3年4月に公益財団法人横浜YMCAの系列園として設立されました。園はJR戸塚駅や相鉄線弥生台駅からバスで15分ほどの住宅地に位置しており、近隣には公園が多く、スーパーなどもあるので散歩に出かける際には、たくさんの人と挨拶を交わしながら過ごしています。

・YMCA山手台センターの建物の1階に0,1,2歳児の保育室、2階に3,4,5歳児の保育室があり、館内にはスイミングスクールなどを行う20mプールやYMCA山手台学童クラブが併設されています。プールに通う利用者の方とのかかわりや、卒園してから学童クラブに通う児童もおり、小学生との交流の機会もあります。

- ・産休明け保育、延長保育、障がい児保育を行っています。
- ・イエス・キリストの教えに基づき以下の事柄を大切にしています。

○子どもの主体性を育む保育

○自然にふれ、健康な心と体と豊かな感性を育む保育

○さまざまな活動や遊びを通して子どものやってみたい気持ちを大切にする保育

○違うことの大切さを認める保育

○仲間と共に育ちあう保育

・5歳児クラスでは富士山YMCAを使って、夏と冬に2泊3日のキャンプを行っています。大草原や森を訪ね、大自然を相手に全力で楽しみます。4歳児は三浦YMCAの施設で夏にお泊まり会を行っています。毎日の散歩や、バスでの園外保育などたくさんの戶外遊びの機会を設けています。

・体操遊びやプール遊び、英語あそびなど、YMCA内の事業と協働し、専門のインストラクターや講師と一緒に遊ぶ機会があります。プールでは自分の身を守るための水上安全についても学びます。

・年齢に合わせた基本的な計画はありますが、子どもたちの言葉や思いに耳を傾けながら日々の保育を行っています。また、異年齢でのかかわりも積極的にもち、互いに良い刺激を受けながら過ごしています。職員も含め、アットホームな雰囲気大切に、一人ひとりに寄り添う時間を大切にしています。

・「コドモン」を導入し、保護者からの連絡や登降園の管理などスムーズに行えるようになりました。また、毎日写真を通して保育の様子をお伝えする「保育ドキュメンテーション」も配信しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年7月1日(契約日) ~ 令和6年3月14日(評価結果確定日)
受審回数(前回の受審時期)	2回(2018年度)

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1) 子どもの多様な体験の機会を設けています

園は複合施設横浜YMCA山手台センターの中にあり、プールを利用する地域の人たちや学童クラブの児童等と自然な交流が持っています。毎週、センターのプールを使用したプール遊びもしています。その他、幼児クラスが参加する自治会の公園清掃や地域の教会の礼拝参加等で地域の人たちに接する機会、法人の他施設を利用した5歳児クラスの2泊3日のキャンプ、小学校の同学区の5園年長児数十名が参加する1泊2日の「いずみっ子キャンプ」、4歳児クラスの夏のお泊り会等、多様な体験が得られる機会があります。

2) 「食」を通した子どもの育ちを支援しています

給食は添加物を使わず、和食中心のシンプルな味付けを基本にしています。誕生会や年中行事の時は特別メニューで季節感を感じ、味わっています。食育活動として、園の近隣に畑を借り、子どもたちと散歩をしながら野菜が育つ様子を見守り、全園児でさつま芋掘りをするなど、自然と食に興味を持てるように工夫しています。近隣園に誘われ、焼き芋をもらいに行くこともしています。また、園で食べているお米の産地から送られた動画を見たり、もみ殻を外したりする体験もしています。

3) 地域の中の園としての密な連携に努めています

法人の使命として「地域の人々と、ともに生きる社会の形成を担います」とあり、地域連携に努めています。泉区主催の子育て支援イベント「いずみっこひろば」に職員が参加し協力しています。園がある山手台センター運営委員会（保育園・健康事業部・学童・地域の第三者で組織）や泉区社会福祉協議会、災害ネットワーク等との連携もあり、地域の課題やニーズについて話し合っています。園の地域子育て支援の一時保育、園庭開放、園見学時の会話や相談内容等からも子育て支援ニーズの把握に努め、この内容を踏まえ、次年度の園の年間計画や子育て支援活動計画に反映させています。

4) さらなる環境整備の工夫が期待されます

園は元々ある複合施設の1、2階をリフォームして使用しています。子どもの生活に適した場となるよう環境を整備していますが、収納場所が限られており、備品、保育教材類等の整理に苦慮している面があります。子どもの生活にふさわしい保育室や園内環境整備について検討を続け、更に工夫することが期待されます。

5) 職員の採用への活動が期待されます

人材確保については、法人の担当事業部の採用・広報活動やハローワーク、派遣会社の活用等により継続して行っています。実習生の受入れから採用につながった事例があり、人材確保に努めていますが、十分な人員確保には至っていません。今後も人材確保のため、具体的な検討や活動が引き続き望まれます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

YMCA山手台保育園アルクは、1991年YMCAチャイルドケアセンターとして開設し、今年度32年目を迎える保育園となります。

2018年度以来の5年ぶりの第三者評価受審となりました。

まず、第三者評価を受審するにあたりご協力いただきました保護者の皆さま、そして丁寧に審査・評価・アドバイスをしてくださった 評価機関の皆さまに感謝いたします。

評価項目の調査を進めていく中で保育所としてあるべき姿、現状の不十分な状況を再

確認し、改善すべき点などの気づきに役立ちました。
今回の評価を受け、園の強みをさらに強めていき、課題となる部分にも目を注ぎ注意をはらっていきたいと思います。
今後も子どもたち一人ひとりの心身の成長に寄り添い、ご家族、そして地域の方と共に手を取り合い、
豊かで質の良い保育を提供できる園を目指して努力してまいります。

⑧第三者評価結果
別紙2のとおり